



南牧中学校の学校生活が再開します

校門付近の桜若葉が美しい季節になりました。臨時休業となって生徒がいなくなった学校はひんやり、しーんとしていて、時折、先生方が忙しい足取りで行き来をしていました。学校は、生徒がいてこそ「学校」になるのだとしみじみ感じた一週間でした。

この度の臨時休業に際しまして、ご家庭での健康観察のもと、オンライン授業に対応していただいた生徒のみなさんに、そして環境を整えてくださった保護者の皆様に、大変ご理解とご協力をいただきました。本当に有難うございました。

それぞれの家庭で健康観察をしながら過ごした毎日はどうでしたでしょうか。心配だったり、不安を感じることもあったりした人もいたことでしょう。そんな思いも、また教室で聞かせてください。

体調に不安を抱えている人もいるかもしれません。コロナと共に生きていく時代を迎えています。これからも、もし体調を崩してしまった方がいたとしても、安心して静養できる環境づくりを目指していきます。学校では、これまで行ってきた感染症対策（換気・消毒・黙食等）をこれまで以上に徹底し、感染予防に努めてまいります。

私たちの学校生活が、また始まります。



1年生の教室の窓から、中庭のつつじの花が見えます



Teamsを使った、オンライン授業の様子



学校再開に向けて、消毒作業

13日（金）の帰りの学活では、校長先生から、オンラインで各学級の皆さんに次のようなお話がありました。

（抜粋）



コロナウイルスの怖さとして3つの顔があります。それは、「病気」「不安」「差別」です。「病気」は医学の日々の進歩で、薬や病院で治るようになってきました。2つ目の「不安」について、みなさんは学校に行ったり、友だちと久しぶりに会ったりすることに不安を感じる人はいないでしょうか。そんな気持ちは、自分一人で抱えずに、誰かに話してみましょ。お家の人でもいいですし、先生にでも

構いません。きっと心が軽くなりますよ。3つ目の「差別」について、感染したり濃厚接触者になったりした人や、その家族が悲しい思いをするようなことがあってはいけません。それを止めることができるのは、皆さん一人一人の力です。自分がもしその立場になったらどういう思いになるだろうか、想像力を働かせてください。皆さんならその力があると信じています。先生たちはみんなを待っています。

【臨時休業に伴う、学校行事等の日程変更について】

以下のように変更させていただきます。それぞれの詳細につきましては、各教室で生徒の皆さんに説明し、家庭通知を差し上げます。あらかじめご承知おきください。

血液検査（全校生徒対象）	5月23日（月）
部活動参観・部活動保護者会・保護者会長会	5月27日（金）

【給食調理場から、保護者・生徒のみなさんへお知らせ】

臨時休業に伴い、食材の発注等も調整を図りながら行っているところですが、5月中の給食の献立に変更があります。献立の変更に関わってアレルギーに関するお知らせがある場合には、個々のご家庭ごとに事前にご連絡を差し上げますので、お確かめください。



心む言葉が、廊下に展示された美術の作品の中から届きます

【南牧村教育委員会から、保護者・生徒のみなさんへお知らせ】

南牧村中間教室「ほっとルーム」開設についてです。右頁からのお知らせをご覧ください。もっと知りたいなという方がいらっしゃいましたら、村教育委員会へお問い合わせください。

生徒のみなさんは、校内の先生に直接聞いてもらってもかまいません。お気軽にどうぞ。

文責：目黒 哲朗

南牧村中間教室（教育支援センター）

～「ほっとルーム」～ の紹介

南牧村教育委員会

「ほっとルーム」はどんなところですか

- ・学校へ行きにくくなったり、行けない状態が続いたりしている小・中学生が安心して過ごせる場所として、南牧村教育委員会が設置している場所です。
したがって、中間教室に通室した日は、「出席」として扱われます。
- ・自己肯定感を高め、自立心や社会性、学校復帰に向かう意欲を引き出したいと願い、少人数集団の中で、自主学习や集団遊びを中心に様々な活動を行います。
- ・保護者や学校、関係機関と相談・連携しながら、学校にかわる学びの場として支援します。

どんなことをするのですか

- ・自分のしたいことや、他の通室生と一緒にできる様々な活動をします。
- ・指導員が活動の支援をします。

<活動例>

- 自分のしたいことをしよう。
(工作・絵描き・粘土・読書・手芸・漫画・インターネット学習など)
- 他の通室生と一緒に活動しよう。
(集団ゲーム・運動・調理活動・身近な施設見学など)
- 自分にあつた学習をしよう。
(一人一人の歩みに応じた学習の援助をします)

どこにありますか

- ・南牧村中央公民館の2階にあります。

通室の方法はどうしたらいいですか

- ・保護者による送迎、徒歩、自転車など、保護者の責任のもとに安全に配慮して通わせてください。
送迎ができない場合は、ご相談ください。
- ・学校から「通室依頼書」が提出してある場合には、通室途中及び活動中の事故は日本スポーツ振興センターの災害救済給付の対象となります。

教室の活動日と時間はどうなっていますか

- ・活動日は月曜日から金曜日までです。(祝祭日は休み)
- ・夏休みなどの長期休み、学校行事の振替休日、計画休業日などは、それぞれの学校の年間行事計画にしたがってください。(ほっとルームは村内の1校でも登校日となっていれば開室しています)
- ・活動時間は、午前9時から午後3時までを目安にしています。
- ・活動日と活動時間はお子さんの状況によって対応しますので、ご相談ください。

どんな生活上の約束がありますか

- ・それぞれの学校の「生活のきまり」にそって生活をします。
 - ・服装やかばんは学校規定のものでなくて構いませんが、小・中学生にふさわしいものにしてください。
 - ・学習は自主学習を行っています。学習用の参考書等は各自で用意してください。
 - ・自分で読みたい本を持ち込むことは構いません。
 - ・水筒に水またはお茶を入れて、持参させてください。
 - ・給食の提供はありません。昼食は弁当持参となっています。
- ◎携帯電話、スマートフォン、携帯ゲーム機等を持ち込んではいけません。
(緊急の場合はほっとルームの電話を利用させています。)

通室するにはどんな手続きが必要ですか

- ・お子さんを通室させたいと希望されましたら、まず学校に相談してください。
直接「ほっとルーム」に連絡したり、相談に来たりしていただいても結構です。
- ・お子さんと一緒に「ほっとルーム」を見学したり、試しに通室させたりすることも可能です。
- ・通室が決まりましたら、学校から「通室依頼書」が教育委員会に提出されます。
(保護者が通室に関わっての手続きをすることはありません)
- ・通室をやめる時も、学校または指導員にご相談ください。

学校との関係はどうなりますか

- ・お子さんの「学籍」はそのまま学校にあり、転校するわけではありません。
- ・「ほっとルーム」と学校の両方に通うこともできます。詳しくはご相談ください。
- ・「学校に戻りたい」という意欲がでてきた場合には、安心して通学できるように学校と連携して支援します。

保護者の悩み事相談もできますか

- ・指導員や心の教室相談員・教育委員会指導主事が相談に応じています。お気軽にご相談ください。

問い合わせ・連絡先

- ・南牧村中間教室 ～ほっとルーム～(教育支援センター)
(住所) 南牧村海ノ口1138-2 (中央公民館2階)
(電話) 0267-92-2104
- ・南牧村教育委員会 学校教育係
(電話) 0267-96-2104